

安全・安心 まちづくり通信

地域から 広げる安全 まちづくり

VOL.30



山梨県 県民生活部 県民安全協働課 甲府市丸の内1-6-1 TEL 055-223-1352

令和3年2月発行

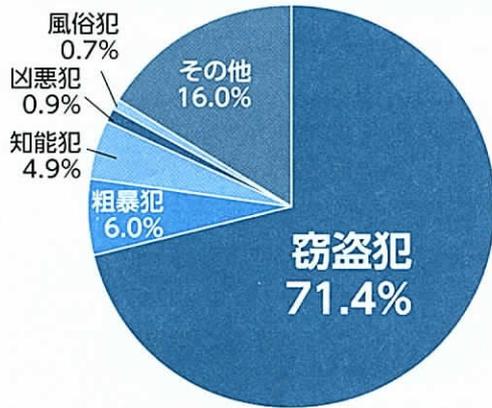
山梨県内の犯罪情勢(令和2年中)

※統計データ：山梨県警察本部より
(令和2年12月末の暫定値)

令和2年中の県内における**刑法犯認知件数(刑法犯罪の内、被害届が提出されたもの)**は**3,128件**で、**昨年より857件減少**と、大幅に減少しました。

これは、新型コロナウイルス感染防止のための外出自粛により街頭犯罪等が減少したことに加え、警察関係者の尽力、各地域での防犯対策や継続的な見守り活動などを行っている自主防犯ボランティア団体の方々の日々の取組の成果だと考えられます。

刑法犯罪の種類別割合



刑法犯認知件数の推移(山梨県)



令和2年中の刑法犯認知件数を犯罪の種類別に見てみると、**窃盗犯が2,234件**で、**全体の7割以上を占めています**。空き巣などの泥棒や自転車やバイクの盗難を防ぐためには、**短時間でも鍵をしっかりとかけることが有効**です。**いつでもどこでも鍵をかける習慣**をつけましょう。



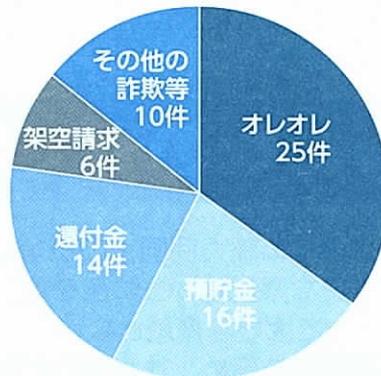
狙われています！電話詐欺

※統計データ：山梨県警察本部より
(令和2年12月末の暫定値)

アポ電件数・被害件数・被害金額の状況

	令和2年中
アポ電(予兆電話)件数	1,070件
()内は前年同期比	(-186件)
被害件数	71件
()内は前年同期比	(±0件)
被害額	約1億5,916万円
()内は前年同期比	(+3,959万円)

電話詐欺の内訳



県ホームページ
QRコード
電話詐欺の情報を
随時更新中!

令和2年中における電話詐欺のアポ電(予兆電話)は1,070件で、被害件数は71件、被害総額は約1億5,916万円でした。前年と比べ、アポ電件数は186件減少、被害件数に増減はないものの、**被害額は約3,959万円増加**しています。最近の被害の特徴としては、市役所や金融機関をかたった**「還付金詐欺」が急増!**60歳代の方にスーパー等のATMに行くように指示し、還付手続きと偽ってお金を振り込ませる手口が多いです。ATMで還付金を受け取ることはできません!**「ATMで保険料や医療費などを返金します」は詐欺**です。また、**他人に現金やキャッシュカードを手渡したり、キャッシュカードの暗証番号を教えることも、絶対にしないでください!**



山梨県安全・安心なまちづくり表彰



令和2年10月14日、山梨県庁において、山梨県安全・安心なまちづくり表彰式を行いました。この表彰は、県内においてお互いに守り支え合うコミュニティの形成を図り、犯罪の起こりにくい安全・安心なまちづくりを推進するための自主的な活動等、広く他の模範となる団体及び事業者を、知事が表彰するものです。

令和2年度の表彰者は、次の4団体でした。

- ◇上野原警察署署所在地ふれあい連絡協議会
- ◇東山梨駅周辺セーフティパトロール隊
- ◇富士吉田警察署管内少年補導員連絡協議会
- ◇都留文科大学附属小学校スクールガード



それぞれの団体が、パトロール、登下校児童の見守りなど、犯罪の防止のために、広く模範となる自主的な活動を継続されており、その功績により、本表彰を受賞されました。



県内で活躍中の防犯団体の方々を紹介します。



上野原警察署署所在地ふれあい連絡協議会



上野原警察署員と共に児童の見守り活動を実施
児童の登下校を見守っています

令和2年度に安全・安心なまちづくり表彰(山梨県知事表彰)を受賞された『上野原警察署署所在地ふれあい連絡協議会』をご紹介します。同協議会は平成8年に設立、上野原警察署の署所在地の管轄地区から各1名が会員となって組織されており、構成員は11名です。

長年にわたり、小学校等の登下校児童の見守り活動を行い、上野原警察署と連携して新入学生児童に対する防犯教室や交通安全教室の実施、祭典での巡回パトロールを行っています。また、電話詐欺被害防止DVDを上野原警察署と協働制作し、老人会の集まり等でDVDを活用して防犯講話を行うなど、地域に密着し、多岐に渡る活動を行っています。

会員が、おそろいの帽子と黄色のジャンパー、腕章をして活動する姿は、子供だけでなく、地域の住民にも安心感を与えています。

同協議会会長の渡辺さんは「地域の人間として、地域と警察の橋渡し役をしていきたい。私自身、元気なうちは何があっても活動を続けていこうと思っているが、地域の人達にも、普段の生活の中で子供を見守ってもらえたら嬉しい。地域全体で見守っていくという気持ちが芽生えて育つきっかけになればいい。」と熱い思いを話してくれました。



帽子とジャンパー、腕章を着用した渡辺会長



みんなの力で暴力団追放!



暴力団は、自らの利益や名誉のため暴力団同士の抗争事件を起こしたり、組織の資金源を確保するため、手段を選ばず善良な県民等から財産を奪いながら勢力を拡大させるなど、県民の生活や社会経済の発展にとって大きな脅威となっています。暴力団を壊滅するためには、**県民一人ひとりが暴力団排除の意識を高め、社会全体が「暴力団の存在を許さない」という対決姿勢を持つことが必要です。**



山梨県暴力団排除条例では

- 暴力団を恐れない
- 暴力団に資金を提供しない
- 暴力団を利用しない
- 暴力団事務所を開設させない

の基本理念の下、県民は暴力団の排除のための活動に自主的に、相互の連携及び協力を図りながら取り組み、事業者は暴力団との関係を遮断するなど、自主的な暴力団排除に取り組むことを求めています。暴力のない安全で安心な地域社会を実現するため、社会全体で力を合わせ、暴力団を追放しましょう。

水産地域あいさつ
声かけ運動
都留市立禾生第二小学校スクールガード

県内で活躍中の防犯団体の方々を紹介します。 都留市立禾生第二小学校スクールガード

令和元年度に安全・安心なまちづくり表彰を受賞された『都留市立禾生第二小学校スクールガード』をご紹介します。同スクールガードは、禾生第二小学校の学区内の方々に組織されており、平成18年に設立、構成員は30名です。平成22年から児童の登下校時の見守り活動を行っています。

隊長の井上さんはご夫妻で活動されており、雨の日も風の日も雪の日も毎日、通学路の交差点に立って黄色の旗を振り、児童やドライバーに声を掛けてあいさつし、児童の安全な登下校に尽力しています。児童を見守る姿は地域の方々に広く知られており、児童の保護者や卒業生からも感謝を伝えられるそうです。また、見守り活動だけでなく、声かけ・あいさつ運動や地域の中で不審者の監視、通学路の危険箇所点検なども行っています。井上ご夫妻は「あいさつは、コミュニケーションの基本。私たちは地域の子ど



毎朝、児童の登校を見守っています



手作りの見守りかかし

も達の名前を覚えているので、名前を呼ぶと嬉しそうにあいさつを返してくれる。お互いに声をかけることで、自分たちも元気をもらっている」と笑顔で話しました。その他にも、通学路沿いの所有地に不審者対策として手作りの『見守りかかし』を立たせたり、「地域の人に少しでも和んでもらえれば」と竹製のオブジェやハートをモチーフとした花壇を作っています。ご夫妻は「継続は力なりです。長生きして、これからもできるだけ長く活動を続け、地域に貢献したい」と熱い志を語ってくれました。



手入れをしている
通学路沿いの花壇

ネットの危険から子供を守りましょう!!



子供達が自分のスマートフォンを持ち、SNSやゲーム、調べ物等を利用することも多くなりましたが、一方で、有害情報サイト等にアクセスし、犯罪やトラブルに巻き込まれるケースも絶えません。そこで、トラブル防止のために、保護者ができる3つのポイントを紹介します。

1 スマートフォンの利用状況を把握するために、ペアレンタルコントロール*を活用する

*ペアレンタルコントロールとは、子供のスマートフォン等の使用状況を保護者が把握したり、安全管理を行ったりする仕組みで、OSやアプリ事業者からサービスが提供されています。例えば、子供がスマートフォン等でゲームをプレイする場合、保護者のスマートフォンから、子供の日々のプレイ状況を確認できたり、プレイ時間の長さや時間帯の調整、課金の制限をすることができます。



2 不適切な情報や危険な出会い等を防ぐために、フィルタリングを賢く利用する

子供がうっかり、または故意に出会い系サイトやアダルトサイト、暴力的な表現のあるサイト等を閲覧できないように有害情報へのアクセスを制限する「フィルタリング」を活用しましょう。子供の年齢や使い方によりレベル設定ができ、利用したいサイト、SNS等の個別設定もできます。

3 家庭のルールを作り、成長とともに少しずつ改定する

子供とスマートフォン等の利用目的や利用場所・時間帯を話し合って、家庭でルールを作り、成長に合わせて少しずつ改定していきましょう。スマートフォン等の利用状況は、その都度子供と話し合い、問題がないか確認して下さい。万が一、トラブルが起こった際は、子供が一人で抱え込まず、すぐに保護者に相談するよう、普段から子供と話しておきましょう。



家庭のルールの具体例

- 名前や顔写真、学校名などは書き込まない
- 利用する場所や時間を決める
- トラブルの時はすぐに保護者に相談する

県からのお知らせ

幼稚園・保育所ではウサギのリョウ君と一緒に、紙芝居で防犯教室をしています



リョウ君

防犯講座受付中

山梨県では

- ◎学校・幼稚園・保育所等での子ども防犯教室
- ◎自治会の集会や自主防犯ボランティアの集会などの各種会合での防犯講話(電話詐欺や空き巣対策)など、職員を派遣して出張防犯講座を行っています。ご利用希望の方は、下記までお気軽にお問い合わせ下さい。
- ◎お問い合わせ先 山梨県 県民生活部 県民安全協働課 消費安全担当 ☎055-223-1352

山梨県警察 ふじ君安心メール・ツイッターの紹介

「ふじ君安心メール」サービス

山梨県警察では、子供の安全情報やお住まいの地域の犯罪発生情報などを、電子メールで配信する「ふじ君安心メール」サービスを行っています。配信する情報は、各市町村ごとの

- ◎子供や女性に対する声掛けや、不審者等の情報
- ◎ひったくりや空き巣、電話詐欺などの犯罪発生情報

などです。携帯電話やパソコンのメールアドレスをお持ちの方なら誰でも利用できます。こちらのQRコードを読み取り、空メールを送信することで登録できます。



山梨県警察 公式ツイッター

山梨県警察の活動に関する情報のほか、犯罪や事故の発生など、安全・安心に関する情報なども発信しています。(発信専用です)

ぜひフォローしていただき、タイムリーな情報を役立ててください。

こちらのQRコードから読み込めます。



山梨県犯罪被害者等総合支援窓口を御利用ください。

山梨県では、「山梨県犯罪被害者等総合支援窓口」を開設し、様々な問題に直面している犯罪被害者等の相談に電話で応じ、適切な相談窓口を紹介しています。

どこへ相談すればいいのかわからないという方は、ぜひご利用ください。

相談者の秘密は堅くお守りします。

ふじさん よいはれ

◎相談専用電話 055-223-4180

◎相談時間 月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分～午後5時15分

